
「利は乱にあり」

ここで儲けないで何時儲ける！！

サブプライム問題を契機に世界主要国の株価が軒並み急落しています。

「今回の下げで大損をしたからもう株はやめた」

こんな儲からないものをやっけてもしょうがない株はしばらくお休みだ。

そんな声ばかりが聞こえてくる今日この頃（何と陳腐な表現）です。

波乱だからこそ儲けられる！！

今、儲けないでいつ儲ける。

損をして困った、儲からない、やりたくても金がない、こんな愚痴をこぼすのは弱者です。

相場必勝法は「反任侠道」つまり「弱きを挫き強きをたすける」任侠の美学に反する行動をとること。弱者の多出している今が儲けのチャンス！へなちょこインテリがいかにも理路整然と弱気を述べています。この人たちがいかに当たらないか、新年の日本経済新聞を見れば一目瞭然。年間の下値目標が軒並その日のうちに破られてしまっています。

私は今からこの時期だからこそ相場で儲けられるという方法を伝授します。（「ただし、××円の伝授料を申し受けます」などとケチな事はいたしません）

理屈は簡単「株は安いところを買って高いところを売れば儲かる」

「何を今更当たり前のことを」という貴方、まだまだ未熟ですぞ。

たしかに安いところ、といってもどこが安いところなのか、何を基準安いというのか厳密にいうとこんな難しいことはないのです。

そんな難しいことを私のような浅学非才の身でできるはずもないのは百も承知です。しかし、絶対的な安値は分からなくても相対的に安いところは簡単に分かります。

多くの投資家よりもはるかに安いところを買えば少なくとも相対的に有利な立場に立てます。（出来高加重移動平均のはるか下を買えばよい）

こんな当たり前のことを愚直に繰り返していくうちに何時のまにか儲かってしまおうのが相場の面白いところでありJ・P法の妙味です。

自明の理を積み重ねていくうちに何時のまにか金持ちになってしまう

これが私の開発した J・P 法です。

安いところを買う方法

1) どんな時が安値になる可能性が高いか? という仮説を立てる。

(今回は余りバタバタしないで週末だけの作業で足りるよう、週足を利用して解説します)

こんな条件を満たせば目先の安値になるのではないかなあ・・・

J・P法分析シート 週足用 235番

大底圏の個別銘柄発掘法

短期M指標 以下	-4	最安値 周期	50	最高値日柄 以上	34
中期M指標 以下	-10	最安値比率 以下	1.06	短長DC後日柄 以上	18
生短弾性値 以下	-13	最安値日柄 以下	2	当日終値 以上	20
生中弾性値 以下	-25	最高値 周期	50		
生長弾性値 以下	-34	最高値比率 以下	0.6		

J・P 法を知らない方は上記指数の意味が分からないと思いますが、興味のある方はメールで解説資料を申し込んでください。(資料代は無料です)

2) こんな条件で役に立つの? (確率検証)

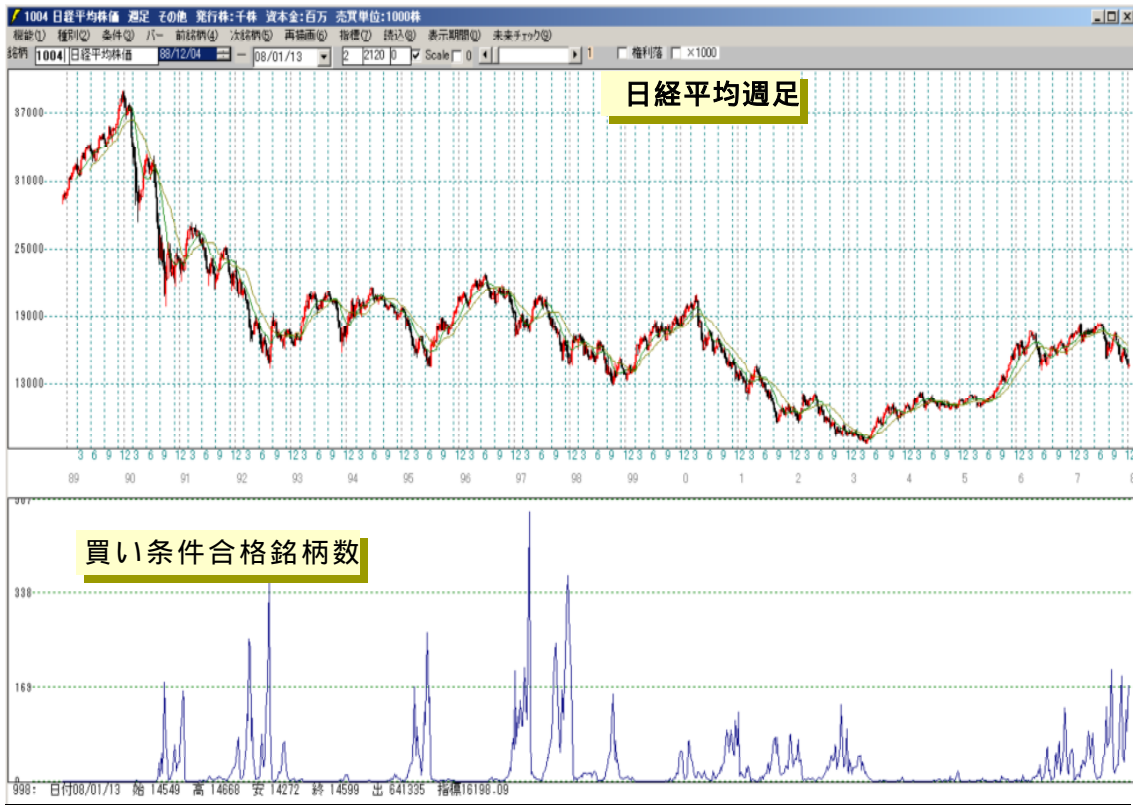
JP分析検証結果					
検証期間	1989/12/10	~	2008/01/13	建玉期間	26
シート番号	235	~	235	閉じる	印刷
					白
30%以上上昇の件数	12148	件	30%以上上昇の確率	50.50	%
20%以上上昇の件数	3394	件	20%以上上昇の確率	14.11	%
10%以上上昇の件数	3708	件	10%以上上昇の確率	15.41	%
ダメ の件数	4807	件	ダメ の確率	19.98	%
30%上昇に要した日数平均	13.86	週	30%以上の平均上昇率	70.20	%
20%上昇に要した日数平均	10.45	週	20%以上の平均上昇率	24.92	%
10%上昇に要した日数平均	8.30	週	10%以上の平均上昇率	14.85	%
			ダメ の平均上昇率	3.82	%
			全体平均上昇率	42.01	%

検証結果の評価) 分析手法を評価する際に大切なことはどのくらい当たるかよりもどのくらい外れるかを知ることが大切です。

上の表の例であれば 10 回このやり方で株を買えば 2 回は損する確率が大きいということです。

従って、このやり方で損をしないようにするには少なくとも 10 銘柄を同時に買えば、そのうち 2 銘柄が値下がりしたと仮定してもトータルとしてはプラスになる可能性が大きい。しかも、その平均上昇率は 6 ヶ月以内に 4.2% になる確率が高いという検証結果になっています。

3) 合格銘柄がガッポリ出てきた時に買えば更に儲かる確率は高くなるのでは・・・



直近の買い場 = 2008 年 1 月 6 日の合格銘柄 (134 銘柄)

(全 134 合格銘柄から株価の安い順、かつコード番号の最初の数値が異なる銘柄を 9 銘柄、買い銘柄としました)

79.相場表示1000

日付: 2008/01/06 銘柄数: 9

ソートキー: 昇順

No.	CODE	銘柄名	終値	差	値幅+-	値幅%	出来高	弾性値	弾V	RSI	カイリ	13M	26M	出来倍	出来発比	最高値	値幅+-	値幅
1	1757	千年の杜	30	▼	-28	-48.3	1440.5	-33.8	-	29.4	-45.4	↓	↓	0.4	5.83	31	1	3
2	2360	ウィーブ	22.1	▼	-10.9	-33	2	-21	-	28.4	-27.2	↓	↓	0	22.1	0	0	4
3	3233	ファンドク	21	▼	-18.05	-46.2	540	-28.8	-	25.6	-37.3	↓	↓	0.1	0.16	21.97	699993	4
4	4357	ラ・パルレ	21	▼	-45.4	-68.4	850	-46.3	-	10.8	-63.5	↓	↓	0	0.38	23.01	2.01	9
5	5742	エヌアイシ	41.5	▼	-17	-29.1	42	-14.8	-	31.5	-21.2	↓	↓	0.1	0.07	43	1.5	3
6	6775	東和メック	34	▼	-11	-24.4	76	-15.4	-	31.4	-22.2	↓	↓	0	0.1	36	2	5
7	7482	ダイヤ通商	66	▼	-32	-32.7	1	-13.4	-	28.5	-27.2	↓	↓	0	0.01	67	1	1
8	8146	小杉産業	29	▼	-10	-25.6	241	-22.1	-	33.3	-22.4	↓	↓	0	0.16	30	1	3
9	9318	ジェイ・ブ	38	▼	-25	-39.7	111.3	-25.3	-	25.7	-36.8	↓	↓	0	0.13	38	0	0

合格9銘柄の時価総額合成チャート



このチャートが今後、数週間後にどのような推移をたどるかご注目下さい。

波乱期のさらに簡単な投資法

225 オプション取引で行使価格12500円のプット・オプションを40円で5枚売る

ただこれだけの作業で2月14日の日経平均寄値（SQ値）が12500円以上であれば
 $40円 \times 5枚 \times 1000倍 = 200000円$ になります。

この作業に要する保証金は基本的に本日時点では80万円弱で済みます。

個人的な相場観としては大勢的に弱気ですが、2月14日までに日経平均が13000円を割るとみるほど弱気ではありません。従ってこの投資はかなり高い確率で月2割5分程度の利回りになると見ます。